

世界に目を向ければ、長引く民族間

さて、今年は早い時期から気温が上がり、猛暑が予想されることや、県内でも山林火災や熊の出没など、私たちの生活に不安を与えています。

と

まわりの会の会報誌が届くことで会の活動について理解を深め、会員同士のつながりを感じていただければ

うか。

ひまわりの会は令和九年度に設立三十周年の節目を迎えます。設立当時から現在まで歴代の役員の皆様、事務局である国保連合会のご尽力、会員の皆様のご協力により、会の活動が受け継がれておりますことに心より感謝申し上げます。

三



会長 三浦 みさ子

会長挨拶

青空が眩しい季節となりました。会員の皆様、お元気で

の戦争、中東地域の緊張状態はエネルギー価格、物価高騰を引き起こし私たちの生活にさまざまな影響を与えています。某食品会社スナック菓子のおなじみのパッケージが白黒刷りになったことは衝撃的でした。また、一部の薬剤や、医療資材の供給不足などは、直接命にかかわり、健康状態の維持に大きく影響を与えています。連日このような報道に触れることで先行きの見えない不安に駆られます。

さらに、日本の少子化は歯止めがからず、出生数が過去最少を更新し、政府は少子化対策の財源として子ども・子育て支援金の徴収を開始し、児童手当の拡充、妊婦のための支援給付、産後ケアなどの制度整備が進められています。このような経済的支援や制度整備は重要ですが、経済面だけでなく、孤立や育児不安、地域のつながりの希薄化など子育てを取りまく環境は多様化しています。だからこそ地域のなかで子育て家庭を見守り支えあえる環境づくりがより一層重要になると感じます。

令和8年度在宅保健師の会 (ひまわりの会) 総会

4月24日、三重県自治会館 4階 第2・3研修室において、在宅保健師の会総会が開催されました。総会は瀬川副会長の司会進行により、明石会長の挨拶、三重県国保連合会 太田事務局次長の挨拶の後、定足数報告(会員53名、出席16名、委任状32名)が行われました。その後、瀬川副会長から下記議案に関する説明を行い、原案どおり承認されました。

また、総会終了後、保健介護課健康推進係の赤井主幹から国保・後期高齢者の統計データから見える各市町の医療・介護・健診の状況について報告を行いました。

議案

- 令和7年度三重県在宅保健師の会事業報告について
- 三重県在宅保健師の会役員の選任(案)について
- 令和8年度三重県在宅保健師の会事業計画(案)について

令和8年度 役員紹介

会長 三浦 みさ子(津市)
副会長 瀬川 博子(菰野町)
幹事 日野 里和子(松阪市)
齊藤 由起子(菰野町)
田中 孝子(松阪市)
新堂 愉香子(津市)
糸川 千久佐(松阪市)



ひまわりの会に関するアンケート調査結果

今年3月に、総会の案内とともに送付したアンケートにご協力いただきありがとうございました。アンケートには52人の方にご協力をいただきました。

○現在の仕事について(回答人数:40人)

回答は、4グループに分類し、その結果は下図のとおりです。(複数回答)
各項目の内訳は、下記のとおりでした。

行政・公益法人等での支援	25人(43%)	母子保健事業支援、介護予防、特定保健指導など
民間企業、病院での看護・健康管理	11人(19%)	職員の健康管理、特定保健指導、デイサービスなど
地域支援・ボランティア	14人(24%)	母子関連支援、地域サロン、薬物乱用防止指導など
その他業務	8人(14%)	審査委員、評議員、民生委員、骨髄バンク説明員など

◎令和8年度会員登録状況(6月末現在)

年齢	人数	割合
30歳代	4人	7.5%
40歳代	5人	9.4%
50歳代	9人	17.0%
60歳代	19人	35.8%
70歳代	15人	28.3%
80歳代	1人	1.9%
合計	53人	100.0%

地区	人数	割合
北勢地区	18人	34.0%
中勢地区	21人	39.6%
伊賀地区	3人	5.7%
南勢地区	7人	13.2%
東紀州地区	4人	7.5%
合計	53人	100.0%

新会員募集しています!!

ひまわりの会は、研修会の開催や国保連合会が行う県内各保険者への保健事業支援に協力しています。

お近くに在宅で活動されている方や、退職された方がいらっしゃいましたら、ぜひお誘いください。お問い合わせや、ご入会希望の方は事務局(国保連合会保健介護課)までお知らせください。

編集室

我が家には猫が3匹います。2匹は保護猫、もう1匹は娘が拾ってきた元野良猫です。同じ猫でも性格はさまざまで、甘えん坊な子、気まぐれな子、マイペースな子と、それぞれに個性があり、毎日癒やされています。

そんな猫たちのために、最近キャットウォークを作りました。高い場所を楽しそうに歩く姿を期待していたのですが、完成してしばらくたってほとんど使ってくれません。「せっかく作ったのに」と少し残念な気持ちになりました。まさに「親の心、子(猫)知らず」です。

でも、これは人間にも当てはまるのかもしれない。周りが良かれと思って用意したものでも、本人が必要だと感じなければ活用しないものです。思い通りにならないからこそ愛おしい。そんなことを猫たちから教えられる毎日です。

新堂 愉香子

ひまわりの会事務局紹介

保健介護課課長: 富永 大介
健康推進係主幹: 赤井 大祐
主任: 小松 加奈
主任: 前田 栄莉香
主事: 桐山 希
主査: 内田 英明
嘱託: 山岸 祐子

主に上記メンバーにて運営いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局

〒514-8553 津市桜橋2丁目96番地 三重県自治会館内 三重県国民健康保険団体連合会 保健介護課健康推進係
TEL 059-228-9153 FAX 059-228-5319
E-mail hokenkaigo@kokuhoren-mie.or.jp https://www.kokuhoren-mie.or.jp/

令和7年度 都道府県在宅保健師等会全国連絡会概要報告

令和7年11月25日、サウスヒル永田町において6年ぶりに参集開催され、国保連合会保健師が出席いたしましたので、概要を報告いたします。

講演

「これからの保健師活動ー退職保健師の活躍への期待ー」

厚生労働省健康・生活衛生局健康課 保健指導室 後藤 友美 室長

①第4期特定保健指導について

- ・アウトカム評価の導入
- ・早期初回面接実施の促進：特定健診当日から1週間以内であれば初回面接の分割実施として取り扱えるよう条件を緩和。
- ・ICTを活用した特定保健指導の推進：対面と同様の設定に変更。
- ・特定保健指導の見える化：対象者の特性に応じた質の高い保健指導を還元していく仕組みの構築。

②自治体保健師(常勤)の推移の動向

- ・令和7年度の常勤保健師数は39,579人で過去最高だが、ピークアウトは来るとされる。
- ・人口規模の大きい自治体ほど保健師が集まり、小さい自治体は確保できず格差が広がっている。
- ・「人材育成・確保基本方針策定指針（総務省R5.12月）」の中に「都道府県において必要な人材を確保の上、市町村支援業務に当たったり、市町村職員として派遣するなどの支援を検討していくこと」と明記してあるが、都道府県も中堅層が少なく、人材不足でできない。
- ・退職保健師の活躍の場としては、都道府県では保健師の人材育成、市町村では保健事業に最も活用されている。

事例発表

香川県在宅保健師会（オリーブの会）活動状況報告

香川県在宅保健師会「オリーブの会」 起 弘美 会長

平成11年3月設立、令和7年10月現在会員数62名、年齢構成は約半数が70歳代。

これまでの活動状況は、「保健・看護・福祉に関する研修の推進」「宅老事業」「国保健康教室講師派遣事業への支援・協力」「保険者支援検討会の設置」「香川県がん教育推進事業におけるゲストティーチャー派遣事業」「香川県災害時保健師活動支援協力事業（派遣登録）」「ACP普及啓発事業」等。

「ACP（人生会議）普及啓発事業」とは、在宅保健師等専門職種により、被保険者が自身やその周り

の人と「人生会議」を行うことにより、住み慣れた地域で自分らしく暮らしを続けることができるよう支援する事業である。

実施内容は、高齢者の保健事業と介護予防の一体化実施の一環として、高齢者が参加する通いの場等を活用したポピュレーションアプローチ、またはその家族、介護受給者や地区組織団体等に対する普及啓発活動を行うもので、集団教育やフレイルチェックを行っている。

調査結果報告

令和7年度都道府県在宅保健師等会に係る調査結果（令和7年8月実施）

国民健康保険中央会保健事業課

都道府県在宅保健師等会は、平成10年頃設置、会員は38都道府県、3,281名。職能割合は保健師が83.0%を占め、年齢構成は70歳代が最も多く39.8%、次いで60歳代が36.6%を占めている。年会費を徴収している会は14団体で、平均1,643円である。保険に加入している会は35団体で、そのうち、20団体は保険料の財源を国保連合会が負担している。

活動実績は「総会・役員会の開催」「研修会の実施」が37団体、「会報誌等作成」36団体、「特定健診・保健指導に関する事業」29団体の順で多い。

活動の課題の背景は「会員の高齢化と減少」30団体、「活動参加者の減少・固定化」15団体の順で多かった。

第1回 研修会

総会の後、三重県医療保健部健康推進課 副参事兼健康対策班長の金谷康子副参事から県内保健師の状況、三重県の健康づくり施策の動向・健康づくり対策及び在宅保健師の会への期待についての報告をいただきました。続いて、三重県立看護大学老年看護学 清水律子准教授から「認知症とともに歩む社会ー地域の活動と課題」と題して、



研修会の様子



金谷 康子 副参事



清水 律子 准教授

私たちひとり一人が認知症を理解し、認知症の早い段階から生活の支えや社会資源へのつながりを促し、認知症の人が尊厳を保持しつつ、希望を持って、安心して暮らすことができる社会づくりに向けたご講演をいただきました。



参加者の声…

研修会の参加は2回目ですが、今の話題に沿ったテーマを提供いただきありがとうございます。今の仕事在宅医療・介護に関する仕事をしているため、興味もあり参加させていただきました。

三重県の金谷さんからは、健康づくり施策として団体・企業を巻き込んだ幅広い取組について聞かせていただき、参考になりました。

三重県立看護大学清水さんからは、認知症

基本法の施行に基づき、認知症への考え方が関係者だけでなく地域の皆が認知症を理解し、尊厳ある一個人として接する大切さをご教示いただき改めての学びとなりました。意思決定の場面でも、本人の認知能力に応じた対応が必要とされている中で、今後の仕事に活かしていきたいと思います。

梅林 ひとみ

令和8年度 第2回研修会のご案内

日時：令和8年9月18日(金) 午後1時45分～午後3時15分

場所：三重県自治会館 4階 第2・3研修室

内容：「いつまでも自活できるからだづくり」～首・肩・腰・膝の痛みの予防～
※実技もありますので、運動しやすい服装でお茶を持参してください

講師：合同会社 Fiスポーツ 代表役員 小山 敦 先生

